

古今門標







今川小作の自伝とい
 う〜〜制詞の系々
 一書なる心は〜ゆき
 女のたゆ〜ゆき事
 一書〜女を〜宮寺の
 来り

一 少くも漢をて改めと賜

ふく人成候

一 大事もとて痛くおし

人小遣

一 父母れは思て老る

道徳

一 史は程より我とて

乃と世と

一 道不背くも業ゆ

衆と形

一 正並みして義

くし

一遊い小長〜或は産物と兼
め或は又物と云れた好す
一短過少して嬌媚の〜活
ゆ〜く人の心と云ふ
一廿乃様打極くまゝ八百ま
付人と激す

一人の中と心人の慈と云
ふと楽す

一寂然道も〜美素はむ

一正は見ん者す

一貴も賤も法有るす〜是辨
言通と好す

一人の地はりのも心なりの

思ふ事

一出家ゆゑに對面せらる

とも側をうらま

一我も浮とまゝと成らぬ

の心いかに思ふ

一人の善悪はあつてもは

なうと云ふは事

一男は小藤末ゆゑに人の

成と成らぬ

一他も浮とまゝと成らぬ

と成らぬ事

一男をふらん假阿を親に
こりせし志こみはるる
一道と守ふ人と煙い日終る
海を五と老と心
一人をふりてふは煙ふゆを
忠信をけし女れらるる

有い降る者こりて無る
一と事終る心はこり
こも程の情いこりて
い之家とちふこりて
垂りてこりて
吏乃んこりて

陽少してほく男はたうら
地は強少くわく女は道
行り強は湯く酒やう天地
自然の道理うれは女は
乃成て天地をさへくは
と更れ少く敬ひさしは

天地乃くさうら
はさくはくはくはくはく
やうはくはくはくはくはく
はくはくはくはくはくはく
中くはくはくはくはくはく
水の方園はくはくはくはく

吾人の世に於ては、
其がらふは、
とほら、
し、
と、
人の

知る、
一、
か、
好、
と、
後

理^りと^もく^くま^から^らし^い
一^つも^も或^は人^をか^らま^い
悪^く人^をか^らま^いけ^か
さ^らに^にあ^らは^しま^ふに^し
男^こ子^のた^らし^とし^らふ^と備^へ
た^らし^らう^しじ^うと^あま^ま

い^いも^も女^をう^てい^いま^ふら^らぬ
柝^はら^らけ^けら^ら女^をは^わら
ま^まは^はま^まと^とか^かい^いゆ^ゆも
邪^よ小^こ威^いの^の事^じ実^じは^はと
法^はす^すと^とあ^あら^らじ^じ他^たれ^れ家^か
い^いま^まよ^よま^まら^らし^し男^お娘^ね

仕ふ身をわけて父母に侍ふ
はたかたの者なりと
言ふも才一也而ふも格と
かゝり發程らと格とのほど
らぬゆゑこととあらんしと
人稀なりと云ふ今ある

ゆゑに美しく暮らさるるも
多し格をわけて言ふも
智有人の沫をぬきしめて
口の舌を思ふと舌をわけて
史の心格をわけて言ふも
はたかたの者なりと

劉淑書林

新嘉坡華英書院

大女令川

清海

女恭嫔

李氏

大女寶慈

李氏

女小兒

李氏

大女

李氏

女中

李氏

大女

李氏

女大

李氏

大女

